

今年の新採用医師3名


内科



的場 俊

まとは・しゅん●内科医長●平成4年卒業●専門領域は内科一般。地域包括医療ケア認定医師・日本医師会認定産業医・臨床研修医指導医。18年間高知県内の地域医療をしてその後2年間、岩手県で地域医療を実践してきました。3.11の震災を現地で体験してしまいましたが、その経験を安芸地区の防災医療支援のためにも役立てたいと思っています。


内科



松本 竜季

まつもと・たつき●内科 主査●平成21年卒業●平成24年4月よりあき総合病院勤務。


整形外科



加藤 友也

かとう・ともなり●整形外科 主査●平成20年卒業●高知大学医学部出身です。高知の人と青く高く広い空が好きで高知大学医学部附属病院で研修を受け、高知大学医学部整形外科に入局しました。よろしくお願い致します。

放射線科



山西 伴明

やまし・ともあき●放射線科医長●平成11年卒業●※当科では医師1名、診療放射線技師6名、受付1名のスタッフで業務を行っています。ご質問などはお気軽に放射線科スタッフまで。

小児科



前田 賢人

まえだ・まさと●小児科医長●平成7年卒業●専門領域は小児科全般。日本小児科学会専門医。※子供の健康相談の窓口として、地域の基幹病院として、小児を総合的に診察します。


内科



中村 寿宏

なかむら・としひろ●糖尿病・代謝内科部長●昭和63年卒業●専門領域は糖尿病。日本内科学会総合内科専門医・糖尿病学会専門医・腎臓病学会専門医。


外科



山本 盛雄

やまもと・もりお●外科副医長●平成12年卒業●※治療方針や検査・手術については十分な時間をとり、わかりやすく説明を行います。セカンド・オピニオンについてもお気軽にご相談ください。

精神科



峯瀬 正祥

みねせ・まさよし●精神科副医長●平成15年卒業●専門領域は精神科全般。日本精神神経学会精神科専門医・精神保健指定医。※総合病院の精神科となったことで皆様方のお役にたてることが多くなると思います。


耳鼻咽喉科



西山 正司

にしやま・しょうじ●耳鼻咽喉科部長●昭和60年卒業●専門領域は耳鼻咽喉科全般。日本耳鼻咽喉科学会専門医。※当院は安芸市以東で唯一入院可能な診療施設として当科が重要な役割を担っています。

眼科



吉田 和之

よしだ・かずゆき●眼科部長●昭和62年卒業●専門領域は眼科全般。※当科では白内障手術や緑内障手術、各種眼底出血に対するダイレーザによる網膜光凝固術などを行なっています。

小児科



矢野 哲也

やの・てつや●小児科副医長●平成14年卒業●専門領域は小児科全般。※当科では風邪などの感染症・ぜんそくなどのアレルギー疾患・熱性けいれんやてんかんの神経疾患などを診察しています。

皮膚科



廣瀬 康昭

ひろせ・やすあき●皮膚科医長●平成6年高知医科大学医学部卒業●日本皮膚科学会認定皮膚科専門医。※当院は県東部では皮膚科専門医が常勤の数少ない病院の一つです。



ちょっと気になる
子どもの話
-ADHD編-



小児科医長
前田 賢人 Masato Maeda
室戸市吉良川町出身。県立安芸高校卒業。平成7年に高知医科大学医学部を卒業。高知医科大学医学部小児科研修医、愛媛県立中央病院周産期センター小児科部門研修医、岡山赤十字病院小児科研修医、高知県立安芸病院小児科、高知県立西南病院小児科、高知県立幡多けんみん病院小児科を経て、現病院勤務。

落ち着きのない子

- 落ち着きがなく、授業中立ち歩く
- 体を動かすことがやめられない
- 衝動性が抑えられず、ささいなことで手を出してしまったり、大声を出したりする
- おしゃべりすぎる
- 遊具などの順番が守れない
- 乱暴な子、反抗的な子という目でみられやすい



忘れ物の多い子

- 忘れ物が多く、物を失くしやすい
- 気が散りやすく、集中力が続かない
- 興味があるものに集中しすぎてしまい、切り替えが難しい
- ぼーっとしていて、話を聞いていないように見える
- 行動が他の子よりワンテンポ遅れる
- 縄跳びなどが苦手で不器用
- 片付けられない
- 字が乱れる



これらの症状が年齢に不釣り合いで、日常生活や学校などで支障をきたす場合

ADHD: Attention Deficit Hyperactivity Disorder(注意欠陥多動性障害) かもしれません。

- 頻度** 学童のおよそ1割に認められます。男の子に多く、女の子は症状が目立たないこともあります。
- 原因** 遺伝・環境物質・出生時のダメージなど色々疑われていますが、いずれも確定でなく現在は原因不明とされています。はっきりしていることは、育て方が悪いとかしつけができていないとか本人の努力不足ではない、ということです。
- 行動** ADHDの子供たちの問題行動はわざとやっていることではなく、本人も傷ついている事故です。怒られてばかりなど、適切な対応ができてないと自己肯定感が低下し、学業不振・行動上の問題・対人関係の問題を起こします。

！ ご注意ください

ここではADHDの症状について記載しており、ADHDの子どもがすべてこのような特徴があるとは限りません。また、これらの症状が年齢相応であり、特に異常ではない場合もあります。上記の記載内容にとらわれてADHDと決めつけることのないようご注意ください。

高知県立あき総合病院小児科では、「あっぷるクリニック」で発達の問題をサポートしていますので、御心配な方はご相談ください。